

北里大学  
同窓会  
福井県支部

# 会報

*No. 15*  
*2005. 1*



福井県支部ホームページ

URL <http://www.9.ocn.ne.jp/~kitafuku/>  
E-mail [kitasato-fukui@arion.ocn.ne.jp](mailto:kitasato-fukui@arion.ocn.ne.jp)



『叡知と実践』 薬学部1号館で撮影

## 目次

近況報告	清水賢涼	1
北里大学同窓会だより	清田博己	2
平成16年度支部総会・懇親会を開催		3
飯降山	川端與一郎	4
アジア臨床検査技師研修に参加して	岩佐玲子	5
福井県支部事業報告		6
チャリツア－琵琶湖一周気まま旅	清水賢涼	7
夏の思い出	奥出恭代	8
私のスローライフ	伊藤善祐	9
白金キャンパスを訪れて	伊藤善祐	10
会計報告		11
ホームページ作り		12
あしあと		12

表紙写真：白金キャンパスの正門から

昨年支部懇談会で上京した際、キャンパス内を散策した。あいにく小雨が降っていたので、ぼんやりとした写真になってしまった。昔と比べて、すべてが新しくなったのに驚いた(10ページをご覧ください)。

(平成15年11月撮影)

## 今、福井県支部は...

# 近況報告

同窓会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は、当支部の活動にご協力をいただきありがとうございます。

また、昨年の7月18日に発生しました福井豪雨の災害と台風18号の強風の被害に遭われた方々には、この紙面を借りてお見舞い申し上げます。福井豪雨の当日、敦賀の雨は大したことはなかったのですが、福井の方はあちらこちらで崖崩れや浸水被害が出て、非常招集が発令されたので飛んで行ったところ、私の職場の水道施設でも、市の南部地域にある施設が崖崩れや浸水対策でてんやわんやでした。

また、福井市の水道水は九頭竜川の水を浄化しているのですが、私の職分である水造りにおいても、九頭竜川の水の濁りがどんどん強くなってきており、予断を許さない状態でした。新潟での川の水の濁りによる断水がありましたので、これだけは避けなければと、簡易の浄化試験を繰り返し、設備の薬注能力を睨みながらの運転でした。夜中の12時頃に濁りのピークが過ぎ、3時頃には市内各地にある配水池が満水になる目処が付いて、やっと一安心しました。その後、しばらく水道施設の災害復旧で大変でした。

ところで、平成16年度の支部総会を平成16年7月9日(金)午後7時から福井市内のグリル「葵」で開催しました。前年度の事業報告及び会計報告を行い、今年度の事業計画と会計予算が承認されました。事業計画は 総会・

北里大学同窓会  
福井県支部支部長 清水賢涼

懇親会の開催、会報・名簿の発行です。参加者は7名と少し寂しかったのですが、新しい方が2名参加され、久しぶりにグリル「葵」の料理に舌鼓を打ちながら、近況報告に花が咲きました。

今年度は同総会本部からの出席はなかったのですが、北里学園報によると、国立大学の改革に始まった高等教育機関の競争に対して、【個性・独自性の発揮＝横並び主義からの脱却】のキーワードのもと8項目にわたる重点施策を定め、激動の時代を生き抜く方策を示しています。この中に「学部の改組・改革の推進」という項目があり、農学分野を中心とした学部・学科の再編が取り挙げられています。

具体的な内容は、獣医畜産学部と水産学部を統合再編し「応用生命科学部(仮称)」の設立を進めるとあります。この新学部構想は学部を相模原キャンパスに開設し、文理融合型の基礎課程2年教育及び専門の研究を行うとともに、十和田・三陸でのフィールド科学を重視した専修課程2年教育及び研究を行うとしています。これにより農学生命科学の先端的モデルを示していくという意気込みを見せています。

ここ久しく何事にも厳しい社会情勢は、会員の皆様が毎日身を以て感じておられることと思います。大学も年々変わっており、当支部もHPの開設など努力しておりますので、会員の皆様のご協力や活性化策等のご意見を寄せていただければ幸いです。

## 北里大学同窓会だより

本部同窓会 支部担当常任理事をしておりま  
ず清田 博己(21T)と申します。

平成16年度の福井県支部総会開催おめでと  
うございます。まずは、清水支部長を中心に  
毎年地道な活動を続けてきていらっしゃるこ  
とに敬意を表したいと存じます。また、日頃は  
本部同窓会の活動にご支援、ご協力いただき、  
心より感謝申し上げます。

さて、本年は貴支部総会が金曜日というこ  
ともあり、私を含め本部役員の都合がつかず、  
出席できず申し訳ありませんでした。本誌  
の紙面をお借りして最近の本部同窓会の活動  
状況及び北里学園の動きについてご報告させ  
ていただきたいと存じます。

まず、本部同窓会関係ですが、5月16日に  
同窓会総会が無事終了し、本年度の活動を開  
始しております。本年は同窓会の基盤強化を  
図っていくための取り組みとして、支部の  
拡充、有限責任中間法人について方向性を  
出す、大学との情報システムの連携につい  
て検討するの3本の柱で活動を行っていき  
ます。特に支部の拡充につきましては、同窓  
会活動の裾野の拡大を図るため、本年も支部  
新設に積極的に取り組んでいきたいと思いま  
す。昨年は岩手県支部が誕生し合計24支部と  
なりました。また、支部活動の支援の一つと  
して、本部同窓会のホームページに「支部便  
り」コーナーも設けました。支部活動の紹介  
の場等に利用していただければ幸いです。

学園の動きにつきましては、昨年度7月よ  
り柴理事長・学長となり、常任理事も全員交  
代して大学の経営についても変化が出てきま

北里大学同窓会  
支部担当常任理事 清田 博己

した。平成15年～平  
成18年までの3年間  
について「設立の理  
念・建学の精神・大学  
の将来像」について見  
直し、整理した上で  
「8つの重点施策」を  
打ち出し、不退転の決  
意で遂行していくとの  
ことです。



また、学部関係では、本学は生命科学の総  
合大学として「保健医療と農学の連携」の一  
層の推進方針を打ち出し、最初の取り組みと  
して、獣医畜産学部と水産学部の農学系2学  
部の改組再編構想の具体化に着手しており、  
今年度末には新学部あるいは新学科の計画を  
発表する予定とのことです。詳細は同窓会報  
等でご確認いただければ幸いです。

最後に、福井県支部ならびに会員の皆様の  
ますますのご発展を心からお祈り申し上げま  
す。



## 平成16年度 福井県支部 総会・懇親会を開催

平成16年7月9日(金)

平成16年度福井県支部総会・懇親会が福井市内のグリル「葵」で開催されました。昨年度は日曜日に敦賀市で開催したので、今回は平日の夜という順でした。

本部からの出席はありませんでしたが、出席者は7名(委任状32名、年会費を納入されておられるのは33名)。いつもながら出席者が少ないのが残念でしたが、“継続は力なり”と思いながら楽しい一時を過ごしました。出

席された常連の皆様、そして今回初めて出席されたお二人、本当にありがとうございました。

さて、総会では特別の議題や報告はありませんでしたが、皆様からの会費納入のお陰で今年も例年と同様の活動(総会・懇親会、名簿・会報の発行、ホームページの更新)を継続していくことができます。皆様のご協力に心より感謝を申し上げます。



宮下 弘 毅  
石川 淳  
(敬称略)  
上田 修 志  
宮越 伸 治  
伊藤 善 祐  
清水 賢 涼  
奥井 光 子



### 平成15年度支部懇談会 平成15年11月3日 白金にて



## 飯降山

私は大野市の飯降という所で生まれ育ち、そしてずっとここに住んでいる。この集落の戸数は16戸とそう多くはなく、こぢんまりとしている。集落の全面には田が広がり、裏には「飯降山(いふりやま)」がそびえ立っている。

「飯降(いふり)」という集落名はこの裏山の名からつけられたのだろう。我々地元の者、また大野市民は、この飯降山を尊敬と親しみを込めて、通称「御嶽山(おだけさん)」と呼んでいる。標高は884メートルで、あまり高くはない。山の形は穏やかな曲線を描いて女性の肩を連想させ、優しさを覚える山である。山頂の飯降神社には、白山三峰の御神体と同じく十一面観音、聖観音、阿弥陀如来が祀られている。

この山にまつわる伝説にはいくつかあるが、私が子供の頃からよく聞かされてきたのは次の三つである。一つは、飯降山という字が示すごとく「飯(めし)が降った」という伝説である。昔、この山に

三人の尼さんが住んでおり、仲良く、一心に修行を積んでいた。その様子を神様がご覧になって、毎日高い空から飯を降らし、これを三人が食べて過ごした。いつの日からかこの飯を一人で食べようと考えようになり、次々と他の二人を深い谷に突き落としたところ飯が降ってこなくなったというものである。

二つ目は、この山は泰澄大師により開かれ

川端 與一郎

(昭和48年畜産学部獣医学科卒業)

た山だと言われている。泰澄大師は越の大徳と称せられ、8世紀頃に福井県が生んだ最も古い高僧である。特に大師は山にこもって修行をし、その山の一つが飯降



山でもある。現在でも大師に関係ある言い伝えや遺跡がこの山ばかりでなく、北陸の各地に残っているという。

三つ目は、この山の真正面に荒島岳(標高1,523メートル、近年「日本百名山」の一つに選ばれた。)があり、これと飯降山が高さを競い合って負けたということであり、山を高く

するために石を持って登る者には、飯降山の神様が一つだけ願い事を叶えてくれるという伝説である。

この山に登る場合の所用時間は、普通1時間30分～2時間くらいである。登り始めて5分ほどで拝殿がある。頂上の飯降



飯降山

神社まで行けない人も、この拝殿でお参りができる。ここから尾根伝いに登山道があり、途中6合目あたりに「中休」と言っているところがあり、山水が出ていて飲むことができる。登りつめた山頂からは大野盆地、それを取り巻く荒島岳をはじめ奥越の著名な山々が見渡すことができ、誠にすばらしい景色である。

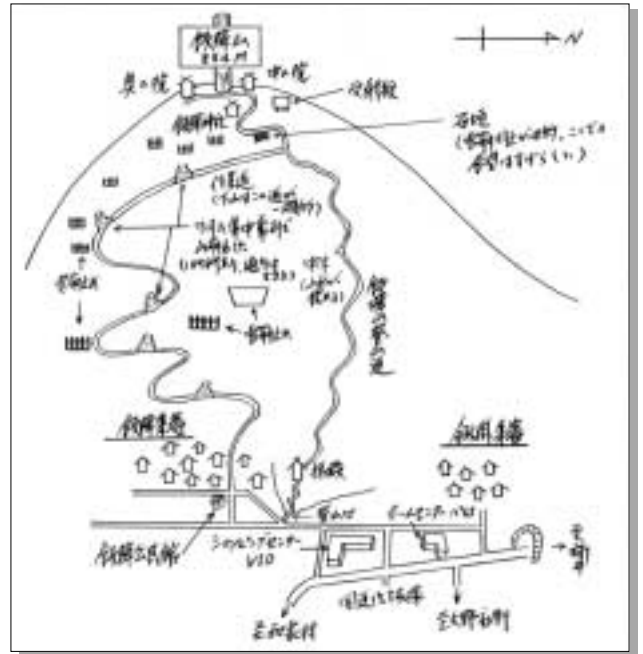
飯降山の登山道は危険な箇所がなく、所用時間が手頃ということなどから、地元の小・中学校の遠足コースとしてよく利用されている。また、夏場の休日を中心に、市内外から家族連れや一般の方々がよく訪れ登山を楽しんでいる。

この山の祭礼は、現在は6月の第1日曜日に行っている。15年程前までは6月4日〔旧の節句〕と8月14日〔旧盆〕の2回行い、当日の夜は集落の者が山頂で番をし、松明（たいまつ）を焚いて登って来る信者を待ち受けたものである。

山頂までの登山道は、集落の者が毎年7月に「道刈り」と称して草刈りや階段切りなどを一日がかりで行って整備し、登山者が登りやすいようにしている。

この山は由緒ある山であり、福井県の山に関する本には必ず掲載されている。皆さん方も是非とも一度はこの山の伝説を語りつつ、登ってみられてはいかがでしょうか。

〔福井県食肉衛生検査所 勤務〕



## アジア臨床検査技師研修に参加して

岩佐 玲子

(昭和58年衛生学部衛生技術学科卒業)

(社)日本臨床検査衛生技師会が行う研修の一つ、『アジア臨床検査技師研修』に参加してきました。やっと、酷暑が過ぎた9月の後半、タイ国での研修はマヒドン大学公衆衛生学部(バンコク)で1週間行われました。アジアの検査技師の仲間とともに“エイズ・結核の疫学と調査計画作成法”の講義を受け、施設見学(結核専門病院、NIH、HIV患者のケアシステムなど)をしました。

HIV感染者・患者の多いタイ国での、実際の取り組みを知り、専門病院での病室訪問を

したことは貴重な体験でした。また、1日を通して、英語でのレクチャーはかなり厳しく、電子辞書片手に奮闘しました。アジアの仲間もカンボジアから1人、タイは2人、ラオスから1人、日本から7人の検査技師、メーカーから1人の少ないメンバーだったので、片言の英語・タイ語・現地語(?)が混ざり合いながらも、コミュニケーションがとれたようで楽しい一時を過ごせました。

タイ語は難しいですが、サワディー カップ(女性は、サワディー

カ) = こんにちは / おはよう / こんばんは / さようなら / ..... 何でも来いです!

コープクン カップ (女性はコープクン カ) = ありがとう ..... 手の平を胸の前で合わせ、祈るように言います!

この2つをマスターすれば、生きていける! と思えるくらいで帰る頃には、自然に挨拶ができるようになりました。

タイ国は初めての私の楽しみと言えば、やはり“食”でした。とても美味しい物が沢山。有名なトム・ヤン・クン (辛さと酸っぱさのエビ入りスープ)、パッパップン・ファイ・デー (空芯菜のピリ辛炒め) は毎回、食卓に並ぶほどで、やみつきになるくらいスパイシーでおいしいです。野菜と果物が特に美味しいので、食べて綺麗になる! そんな食文化です。

名所観光はただ一つ、アユタヤの遺跡へ行きました。日暮れとともに船上で食事を楽しみながら川下りをし、ライトアップされたアユタヤを観た時は、みんなで手を合わせて祈りました。また、技師会の先輩に、知人のお宅へ (生粋のタイ人の家族) 連れて行って頂いたことも大切な思い出です。タイの家庭は大家族で、みんなで食卓に集い、大皿に盛り合わせたご馳走をワイワイとおしゃべりし



ながら楽しく頂きます。私達を、お客さんでありながら10年来の友人のように迎えてくれました。フレンドリーで暖かい人達なのです。研修に行ったことを忘れてしまうほど、幸せな時間でした。

アジアは、急激な成長が進んでいます。大学付近のオフィス街では勤勉そうな学生とエリート達が、タイシルクのスーツを着て行き交っている一方、一筋はずれた路地には物乞いをして生きる子供達も沢山見かけました。貧富の差と心の豊かさが反比例せずタイらしさを大切にしてほしいな...と勝手に思っていました。

是非、皆さんも機会があれば、タイへ出かけてみてください。

〔福井市医師会臨床検査センター 勤務〕



前列の向かって右から4番目が私です。



## チャリツアー琵琶湖一周気まま旅

清水 賢 涼

(昭和47年衛生学部衛生技術学科卒業)

私の職場にサイクリングの好きな人がいて、その人の影響で何年か前からサイクリングを始めました。と言ってもそうしょっちゅう走るわけではありませんが、年数回程度山道・林道などの山坂のある所を選んで走っています。最初の頃はその友人が企画するチャリツアーに参加していたのですが、近くに琵琶湖があるんだからと思い、琵琶湖一周気まま旅を始めました。

琵琶湖一周は約160 kmあり、2日間の行程で毎年琵琶湖一周サイクリング大会が開かれていますが、これを気ままに走っています。

まず1日目。琵琶湖北岸の予定で自宅を6:30にスタート。黒河川を遡って林道を走る。途中から砂利道になり、熊除けにカセットを鳴らしながらゆっくり。峠手前で勾配がきつくなり降りて歩く。峠を越えて一気に下りてマキノ町へ。その昔在原業平が隠れ住んだという在原で業平ソバを食べる。まだ営業前を頼み込んで1杯。大阪や名古屋あたりからも客が来るというオヤジの自慢話を聞きながらすすす。

ソバを食べ終わって、下りながら西浅井町塩津浜に出る。ここから奥琵琶湖パークウェイに入り、また上りだ。歩いて琵琶湖を一周しているという夫婦に出会う。JRの最寄り



駅から歩き継いでいるという。なるほどそういう楽しみ方もあるのかと感心。昼近く、ウン！ちょっと暑くなってきたな、峠のレストランまでガマン、ガマン。で、レストランでゆっくり休憩。さあ、後はまた一気に下り。海津大崎の桜並木のトンネルを快調に走る。マキノ町から今津浜に出て今日の行程は終わり。電車で帰宅。

2日目。車で近江中庄駅まで行き、ちょっと出遅れたかなと思いつつここから出発。前回の今津浜に出て風車街道の松並木を快調に走る。この調子だと今日の行程は平地だから結構行けるかもと思直して。白鬚神社で湖上の赤い鳥居から沖の島を眺めながらしばし休憩。国道161号線の車道を自動車に気を付けながら走る。近江舞子から湖岸沿いを走るも行き止まりが多く、161号線へ戻ったり湖岸へ



出たりのジグザグ走行。ウーン！ 以外に時間かかりそう、今日はまともに昼飯食ったかなと思いながら適宜休憩を取る。浮御堂へお参りし、かの有名な雄琴温泉を一回りして今日はここまで。

3日目。電車で近江塩津駅まで出て、湖東のさざなみ街道を目指す。賤ヶ岳古戦場のふもと道を通り、さざなみ街道へ入る。琵琶湖・竹生島を眺めながらただ走るだけ。長浜市豊公園で休憩を取り、長浜城を見学。また走るだけ。とにかく南下。マラソンでたんぼ

道を走っている時のような気の滅入る走りが続く。やっと近江八幡でアップダウンのある道に出会う。眺めのいい喫茶店で休憩。琵琶湖大橋でしばし周りの景色を楽しんだ後、堅田から電車で帰宅。まだ南湖1周が残っているな！

この行程は毎年1日ずつ3年かかっています。当初2日間で走りきる予定だったのが本当に気まま旅になってしまいました。

## 夏の思い出

福井豪雨災害に被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

皆さん、この夏は大変な猛暑に見舞われ、寝苦しい日々が続いたと思います。でも、私には夏になると毎年、高齢の行事(?)となっている楽しみなことがあります。皆さんは夏の休日、何をして過ごされますか？

私は、海に行ってバーベキューをしています。特に、今年は姪の海水浴初デビューということもあり、一家総出で出かけました。姪は、まだ1歳と数ヶ月でようやく少し歩けるようになったばかりで、この暑さの中、大丈夫かなと心配していましたが、父や母は大喜びで暑さ対策にテントなども購入して張り切って出かけました。

しかし、その日に限って台風が近づいており、時折雨が…。現地に行ってみたものの、35はある暑さの中、近づく台風の影響からかなりの強風。せっかく購入したテントも風で飛ばされそうになり、正直散々な状況でした。実際、テントの役目はありませんでした。

### 奥出恭代

(平成8年衛生学部衛生技術学科卒業)

こんな状況下でもへこたれず、海水浴もバーベキュー(お肉から魚介類まで)も堪能しました。姪も初めての海水浴に大喜びでした(途中からボーッとしていましたけれど…)

今年は一度しか夏のレジャーに出かけられませんでした。来年お夏にはもっと行けるといいなあーと思っています。



\*夏の家族のシーンが目につかびます。強風の中、テントが張れなくてもバーベキューをやってしまう家族の団結と絆が感じられます。きっと良い思い出になったことでしょう。

## 私のスローライフ

伊藤 善祐

(昭和50年衛生学部衛生技術学科卒業)

私達の年代は、仕事だけでなく様々な事で大きな課題が山積しています。“自分のやりたいことが、他人にはわかってもらえそうにもない...”ということになれば、少し寂しい想いをする時もあります。でも、私はそれをこじつけず、ストレスを溜めないようにしたいことをしています。それが、私流ライフスタイル=“常に何かにチャレンジしていく気力”と“スローライフ”です。

スローは鈍くさい？

とにかく忙しいので生活なんかに時間をかけていられない...という焦りを感じたのは、つい最近まで。“スロー=生産性が低い”と思いき、仕事でも“スロー”であることが鈍くさく感じられたからです。本当に“速くやるほどうまくいく”という考え方は必ずしも成り立たないのでは...と思う今日この頃です。

ゆとりを持った生活を

ある人は田舎生活を始めたり、趣味を極めて職人を目指してみたり、また現状の生活の中で居心地の良い空間や時間を楽しむ人が増えてきています。それは、“一般的な日常生活を居心地良くしたいため”に生活の質を向上させようとしているのです。そのためには、“リラックス出来る時間を探す”“リラックス出来るものに囲まれる”という流れを自分自身で作ってみることでないでしょうか？

ゆっくり丁寧に

“雑に速く”を繰り返していても、自然に“丁寧に速く”出来るようにはなりません。これまでの価値観で生きてきた人間は、何でもとりあえず“雑にでもいいから速く”やろうとしがちでした。でも、そうすると雑なやり方が身に付いて後で困ることになりはしませ

んか？一度身に付いたやり方を変えるのは心理的抵抗もあって大変です。しかし、忙しくても“ゆっくり丁寧”を心がけていると、知らないうちにいろんなことがだんだん“速く丁寧”に出来るようになっていきます。

生活に時間をかけてみたい

『スローライフ』とは、ゆっくり丁寧に生活することです。そこからは“時間のゆとり”が生まれ、その時間はボートとするなり何なり自由に使えば良いのです。そうすれば、自ずと生活が豊かになるのでは...。“生活に時間をかけること=豊かさ”という考え方ではないかと思えます。

夢と希望をいつまでも

誰にも“こうなりたい”“こういうふうになりたい”“こうしたい”といった希望がたくさんあると思います。私は、それらが実現されている姿を想像することもあります。そのような希望は“素直”求めるべきで、“～しなければならぬ”“(他人から)～した方がいい”と言われるものでもありません。自分の得意なことや好きなことで、“楽チン、落ち着けそうなもの、わくわく出来るもの”、それらをメモしておいて、いつでも思い出せるようにしています。



白山と奥越の山々

## 白金キャンパスの今

一年以上も前の事で恐縮ですが、平成15年11月3日の午後、北里大学白金キャンパス・薬学部コンベンションホールで『北里柴三郎博士生誕150周年記念シンポジウム テーマ：新・感染症の時代を生きる ~ 21世紀の感染症対策~』が開催されました。

北里研究所 所長の大村 智先生による基調講演『今に生きる北里柴三郎』に引き続き開催されたパネルディスカッションでは、！世界で今、何が起きているのか、"感染症の研究最前線、そして#危機管理と暮らしの対策をテーマに、研究者(医師)、エッセイスト、ノンフィクションライターを交えて意見交換が行われました。この模様はNHK BS1で放送されたので、ご覧になられた方がおられると

伊藤 善祐

(福井県支部会報・ホームページ担当)

思います。

その日の午前中は支部懇談会が開催され、清水支部長の代理で私が出席させていただきました。これで4年続けての出席となり、白金のみならず相模原キャンパスにも訪れることができました。その都度、この会報に印象記や写真を掲載させていただきましたので、学生時代を懐かしく思い出されたり、その変わり様に驚かれた方も多いのではないのでしょうか？

シンポジウムの待ち時間を利用して白金キャンパスの写真を撮ってきましたので、紹介致します。説明が難しいので、キャンパスの見取り図を入れました。



# 会計報告

## 平成15年度決算

平成15年4月1日～16年3月31日

### 収入の部

科目	予算額	決算額	増・減(▲)
前期繰越金	86,766	86,766	0
年会費	70,000	65,000	▲5,000
通信費援助金	20,000	20,600	600
総会開催祝金	50,000	50,000	0
雑収入	15	5	▲10
合計	176,781	172,371	▲4,410

通信援助金は、総会案内の発送件数に応じて同窓会本部から支給されています  
(1人当たり200円)

総会開催祝金は、毎年総会時に同窓会本部からいただいています。

### 支出の部

科目	予算額	決算額	増(▲)・減
名簿関係費	20,000	14,588	5,068
会報関係費	60,000	62,749	▲2,749
総会費	25,000	21,710	3,290
懇談会費	40,000	46,021	▲6,021
会議費	20,000	0	20,000
慶弔費	0	0	0
事務費	5,000	1,950	3,050
事業費	6,000	5,400	600
(小計)	(176,000)	(152,762)	
予備費	781	0	781
事業用積立金	0	0	0
次期繰越金	0	19,609	▲19,609
合計	176,781	172,371	4,410

## 平成16年度予算

平成16年4月1日～17年3月31日

### 収入の部

科目	予算額
前期繰越金	19,609
年会費	60,000
通信費援助金	20,000
総会開催祝金	50,000
雑収入	30,001
合計	179,610

### 支出の部

科目	予算額
名簿関係費	20,000
会報関係費	60,000
総会費	30,000
懇談会費	30,000
会議費	20,000
慶弔費	0
事務費	5,000
事業費	6,000
(小計)	(171,000)
予備費	781
事業用積立金	8,610
次期繰越金	0
合計	179,610

会費を納めていただきありがとうございます。福井県支部の運営は、皆様からの会費ならびに参加費によって行われています(会報及び会員名簿は、名簿に記載されている全員の方々に送付されています)。今後ともよろしくお願い致します。

年額 2,000円/人(ご夫婦では 3,000円)

[郵便振替] 00710 - 8 - 24950 北里大学同窓会 福井県支部

## ホームページ作り

先日、母校の中学校からホームページを公開したいので、作成してほしいとの依頼があった。学校運営協議会で提案されたもので、地域の人達の協力を得て作成・運用をしていきたいとの趣旨に賛同して引き受けることにした。

県や市にホームページの運用に関するガイドラインがないので、運用規定の作成からスタートした。それには、ホームページの管理者、コンテンツ、生徒のプライバシーの保護、種々のトラブルを回避するためのセキュリティ対策などを盛り込んだ。学校のカラーをどのように表現するのか？ 多くの人たちに(もちろん卒業生にも)楽しく見てもらえるように、しかもリピーターになってもらえるようなページ作りをしようと、多少のプレッシャーを感じている。



市販の作成ソフトを使えば、ホームページの作成からアップ、さらに更新が比較的簡単。それ故、ホームページは誰にでも作成できるようになった。ただし、学校の公式ホームページともなると、定期的な更新やメンテナンスを欠かす訳にはいかない。未永く続けて行く為には、学校(先生+生徒)・PTA・地域の理解と協力が必要である。掲載する内容はたくさんあるが、途中で立ち消えになるケースはここに問題があるようだ。これが成功例となるように頑張らなければ…。その前に、“ストレスを溜めず楽しく”を忘れないでおきたい。(Z.I)

## あしあと(編集後記)

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか？ この一年が良い年でありますようお祈り申し上げます。

昨年はイラクの戦後処理問題とテロの頻発、解決にはほど遠い北朝鮮の拉致問題、県内では7月18日の福井豪雨に加えて8月に起きた美浜原発の配管破断事故、相次ぐ台風による洪水などの被害、熊の出没と危害、おれおれ詐欺、10月23日には新潟中越地震が発生。さらに、12月26日にはスマトラ沖巨大地震と津波により15万人を大幅に上回る死者と行方不明者…。本当に人災と天災が多かった一年でした。被災者の健康と、一日も早い復興を願わずにはられません。

8月に開催されたアテネオリンピックでの日本勢の快挙、それに続くパラリンピックでは福井県・高田稔浩選手が大活躍。10月にはイチロー選手が米大リーグのシーズン最多安打を達成した一方で、日本のプロ野球界は新たなチームが到来して観戦の楽しみが増えました。そして、紀宮さまのご婚約も明るいニュースとなりました。

会報もいよいよ15号となりました。今回もお願いした方々から原稿が寄せられ、私自身の原稿と写真(つたない文章で申し訳ありません)を加えて編集しました。昨年の11月には大部分が出来ていたのですが、私の都合で発行が大変遅れてしまったことをお許しください。”この会報は絶対に欠かさない”という気持ちで作っています。いつも最後までお読みいただき、心より感謝を申し上げます。伊藤 記

北里大学同窓会  
福井県支部  
会報第15号

編集

伊藤善祐 江島昌希  
宮川人美

発行日

平成17(2005)年1月15日

発行責任者

清水賢涼

事務局

〒914-0047

敦賀市東洋町6-66 清水方

TEL (0770)25-6593